

TOPIC
1

国立駅南口駅前広場整備

基本設計の対応方針を決定し、実施設計へ進みます

2025(令和7)年10月、11月に開催した市民説明会やアンケートでいただいた多くのご意見を踏まえ、12月に基本設計における最終的な対応方針の検討状況を報告し、取りまとめました。みなさまと共につくり上げてきた基本設計が完了し、いよいよ「実施設計*」へ進みます。

*決定された基本設計プランに基づいて、実際に施工を進めるための詳細な設計

基本設計の対応方針

③ 地植えの緑について

東側広場は全て地植えの緑を配置します。西側広場は今回整備では地植えの緑+可動式植栽の併用で配置します。

④ 一般車乗降場について

旧国立駅舎前から西側の区間に送り迎えで停車可能な場所を設けています。

⑤ ローター及び大学通り接続部の1車線化について

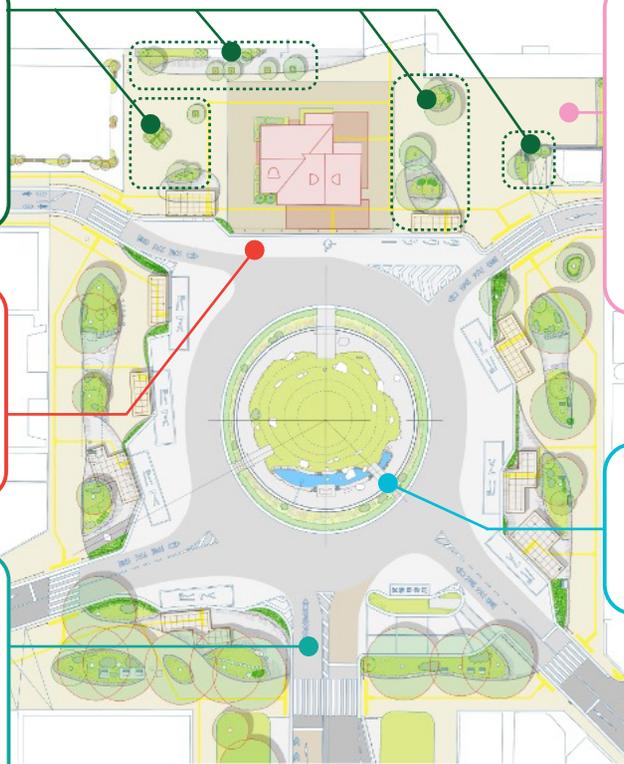
安全性の向上のため、ロータリー及び大学通りについては、計画通り1車線とします。

① トイレ・倉庫について

今回の整備では、倉庫のみを設置します。トイレについては、周辺のトイレ設置状況を調査し「トイレマップ」での周知を図ることとし、将来的な設置については、継続的に検討します。

② 円形公園について

整備費や維持管理などを考慮し、池ではない水環境とします。



※本図面は、全体平面図（案）として市報や市民説明会でお示ししたプランです。

これまでの取り組み経緯

2025年9月
基本設計（案）公表



10月6日
市民説明会
(102名参加)

11月16日
追加市民説明会
(39名参加)



12月22日
検討状況報告会
対応方針の報告
(20名参加)

① 追加市民説明会（2025（令和7）年11月16日開催）

2025(令和7)年10月6日開催の市民説明会後に、追加で開催した市民説明会でも、様々なご意見をいただきました。

主なご意見（抜粋）

「交通の安全性や利便性を最優先に考えてほしい」

「100年先を見据え、国立らしい風土や緑を感じる広場にしてほしい」

「円形公園は歴史的遺産としてできるだけそのままの形で残してほしい」

「子どもたちが自由に遊べる広場にしてほしい」



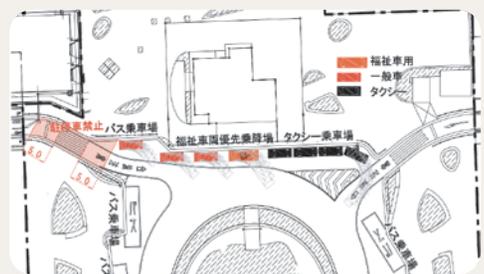
場所：FSX アリーナ会議室

Q&A PICK UP

説明会で特に質問が多かった項目について、より詳しく解説します。

Q. 一般車での送迎はどうなりますか？

A. 旧国立駅舎前の中央から西側の区間に「一般車の乗降スペース」を設けています。人が車へ乗り降りするための「停車」は可能ですが、お迎え待ちなどの「駐車」は渋滞の原因となるためご遠慮ください。福祉車両の優先利用にもご配慮をお願いします。



Q. ローターが1車線で渋滞しませんか？

A. 2024(令和6)年11月に実施した社会実験の結果、現況の交通量に対して大きな問題が生じないことを確認しました。車線を明確にすることで、合流時の接触事故リスクを減らし、歩行者の安全性も高めます。

Q. 緑や木はどうなりますか？

A. 「もっと緑を」という声を反映し、東側広場は全面的に地植えにします。西側も可能な限り地植えエリアを確保し、武蔵野の風土に合った植栽計画を進めます。

② 検討状況報告会（2025(令和7)年12月22日開催）

参加者のみなさまへ、TOPIC 1の基本設計の対応方針（案）を説明しました。

場所：FSX アリーナ会議室 参加者：20名

●これまでの市民説明会の開催報告や市民アンケート結果をご覧ください

市民説明会①開催報告

2025(令和7)年10月6日18:00~20:00に、FSX ホール（くにたち市民芸術小ホール）で開催しました。



市民説明会②開催報告

2025(令和7)年11月16日14:30~17:30に、FSX アリーナ（くにたち市民総合体育館）会議室で開催しました。



市民アンケート調査結果

2025(令和7)年9月19日~10月31日まで、基本設計（案）に関する市民アンケートを実施しました。

